

# 高知空港における地震・津波に対応する 避難計画・早期復旧計画（素案）の概要

---

# 高知空港における地震・津波に対応する避難計画・早期復旧計画（素案）の概要

項目	従来計画と異なる点
1. 総則 2. 共通事項	●被災想定や初動体制など、避難・早期復旧に共通する事項について整理
3. 地震災害 1) 避難計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行動の開始の情報として「大津波警報」から「震度5弱以上」に設定</li> <li>●地震に対応した避難場所の設定(施設の1階に避難)</li> <li>●地震に対応した旅客機の行動を整理 (津波と異なり旅客機をR/W等のより安全な場所へ移動させる必要はない)</li> <li>●帰宅困難者の受け入れ先を、旅客ターミナルビルの搭乗待合室に設定</li> </ul>
2) 早期復旧計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本的に、地震・津波早期復旧計画の簡易版</li> <li>●津波浸水により生じる作業を削除(瓦礫処理や排水作業等)</li> <li>●直下型地震を想定するため、特殊機材の調達は四国地域内で調達できるものと想定</li> </ul>
4. 地震・津波災害 1) 避難計画	<p>南海トラフ地震等広域的災害を想定した空港施設の災害対策のあり方 とりまとめ』(平成27年3月)(以下、「とりまとめ」と称する。)の指摘を踏まえ、情報伝達、避難経路、備蓄、帰宅困難者対策、災害時要配慮者対策について更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 乗客・乗員の避難・広域情報伝達方法</li> <li>② 非構造部材の落下等のおそれの無い経路の設定や、漂流物・津波火災への影響を考慮した避難場所</li> <li>③ 滞留スペースの確保、災害時要配慮者等への配慮</li> <li>④ 帰宅困難者への情報提供、搬送オペレーション</li> <li>⑤ 必要備蓄量等の根拠となる滞留時間、滞留者数の想定</li> <li>⑥ 災害時要配慮者への情報提供等</li> </ul>
2) 早期復旧計画	<p>「とりまとめ」の指摘を踏まえ、夜間の職員参集、関係機関との連絡調整、段階的な復旧、空港間の広域連携、訓練方法について更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 運用時間外の早期復旧の実施体制</li> <li>② 関係機関との役割分担、連絡・調整体制</li> <li>③ 点検復旧作業の段階的かつ優先的な復旧作業</li> <li>④ 複数空港同時被災時の相互補完体制</li> <li>⑤ 早期復旧及び空港運用に関わる図上訓練</li> </ul>